

本日、ここに、鹿島市議会平成30年9月定例会を招集し、諸案件につきましてご審議をお願いするものでございますが、議案の提案に先立ちまして、鹿島市を取り巻く最近の情勢や今後の主要な施策について申し上げます。

### 【はじめに】

6月下旬から7月上旬にかけて、日本に接近した台風7号や停滞していた梅雨前線の影響で、西日本を中心に広い範囲で大雨が長時間続き、多くの地区で観測史上最大の雨量となりました。7月6日以降、気象庁は、数十年に一度の災害が迫っているとして、佐賀県も含め、11府県に大雨特別警報を発表し最大限の警戒を呼びかけましたが、河川の氾濫や家屋の浸水、土砂災害が多数発生し、200人を超える尊い命が犠牲になりました。

ここに、犠牲となられた方々に深い哀悼の意を表するとともに、被災されました全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

### 【7月の豪雨の対応について】

鹿島市におきましても、7月6日における24時間雨量が奥山観測所で243ミリメートルを計測するなど、猛烈な雨が降りました。偶然にも、今回の大雨は、昭和37年に鹿島市を襲った大水害、いわゆる7・8水害の時とまったく同じ曜日の配列となっており、雨が降った期間も雨量も56年前と同じような状況でございましたので、最悪の事態も想定しながら対応したところでございます。

市では、新世紀センターに災害対策本部を設置し、情報収集に努めるとともに、市民の皆様の安全を第一に考え、市内全域に避難指示を発令し早めの避難を呼びかけました。開設しました指定緊急避難場所には、累計で127

世帯、270人の方が避難されました。幸い、河川改修や排水ポンプ場の整備など、これまでの災害対策の効果もあり、人的被害はございませんでした。

しかしながら、昨年の九州北部豪雨に続き、今回の平成30年7月豪雨など、経験したことがないような大雨により甚大な被害となる災害が全国各地で発生しております。これまで以上に防災意識を高め、迅速で的確な情報提供はもちろん、前例にとらわれない災害対策の必要性を強く感じたところでございます。

また、今回の大雨では、市民の皆様へ初めて避難指示を発令しましたが、「実際の避難行動に結びついたのか」、「発令時期や範囲は適時適切であったのか」などいくつか課題が見つかりました。避難勧告や避難指示のあり方につきましては、先日の県内20市町の首長と知事が意見交換を行う「GM21」でも協議が行われたところで、今回の豪雨対応を検証し、今後の災害対策に活かしていきたいと考えております。

### **【鹿島市消防団の佐賀県消防操法大会優勝について】**

次に、市民の安全・安心に欠かすことができない消防団につきまして、大変喜ばしい出来事がございましたのでご報告いたします。7月29日に佐賀県消防学校で開催されました佐賀県消防操法大会において、鹿島市消防団が優勝の栄冠に輝かれました。

この大会は、消防団員が日頃の訓練の成果を発表し、消防技術の向上と士気高揚を図ることにより、地域防災体制の充実強化に資することを目的に開催されているものでございます。

当日は、小型ポンプ操法の部に、鹿島市消防団の代表である古枝分団を含め、県内各市町から15隊が出場され、動作の正確性や機敏性、全体のタイ

ムなどが競われました。県大会での鹿島市消防団の優勝は、平成21年に能古見分団が訓練礼式の部で優勝されて以来、実に9年ぶりで、小型ポンプ操法の部においては初めての快挙でございます。

私も当日、会場で応援いたしました。選手の皆様方が県大会に向けて、4月末から約3か月の厳しい訓練に励んでこられた成果を目の当たりにして、大変感動いたしました。

そして、優勝という最高の栄誉を勝ち取ることができましたのは、選手の皆様方の努力もさることながら、家族・職場・地域の皆様をはじめ、関係各位の深いご理解とご協力のおかげだと思っております。この場をお借りしまして、厚くお礼申し上げます。

優勝した鹿島市消防団は、10月に富山県で開催されます全国消防操法大会に出場される予定となっており、古枝分団におかれましては、既にお盆明けから全国大会に向けて、訓練を再開されたところでございます。

佐賀県の消防団代表としての誇りを胸に、日頃の訓練の成果を存分に発揮し、「伝統ある鹿島市消防団」の名を全国にアピールしていただくことを期待しているところでございます。

市民の皆様におかれましても、全国大会出場への応援を賜りますとともに、今後も消防団活動に対するご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

#### **【鹿島市中村住宅整備事業について】**

次に、鹿島市中村住宅整備事業の状況について申し上げます。

本事業につきましては、これまでご説明してきましたとおり、PFI事業により北鹿島中村区の旧鹿島警察署跡地に、公営住宅20戸・定住促進住宅

20戸を整備し、公営住宅は「入居待機者の解消」、定住促進住宅は「子育て・新婚世帯への住宅の供給」を図るものでございます。

現在、住宅本体の基礎工事を終えて躯体工事に移行しており、その後は内装工事へと進み、今年度内の完成を目指しているところでございます。

本定例会におきましては、事業を進めていく中で基礎工事等の内容に変更がございましたので、債務負担行為の設定についてご提案いたしております。

また、今月中には、入居者募集の案内を、ホームページやチラシなどで広くお知らせし、全室に入居していただけるよう取り組んでまいります。

#### 【肥前鹿島干潟リレーマラソンについて】

次に、肥前鹿島干潟リレーマラソンの開催について申し上げます。

ラムサール条約登録湿地「肥前鹿島干潟」は、登録から3年が経ち、来訪者も年々増加傾向にあります。今以上に「肥前鹿島干潟」の認知度を上げ、市内外から多くの方々に来ていただくために、このたび、新籠海岸にウォーキング・ジョギングコースを整備し、走りながら自然環境に触れることができる場を設けることといたしました。そのコースのお披露目を兼ねて、11月11日に新籠海岸でリレーマラソン大会を開催いたします。

大会当日は、ラムサール登録地である北鹿島地区をはじめ市内でとれた野菜や農産加工品の販売、肥前鹿島干潟ラムサール米や有明海苔、豚汁をふるまい、ラムサール登録地とともに地元製品のPRをする予定でございます。

より多くの皆様にご参加いただき、この事業が魅力ある意義深いものになるよう取り組んでまいります。

そして、ウォーキング・ジョギングコースを整備することにより、野鳥観察の拠点のみならず、健康づくりや憩いの場として活用していただくなど、

今後さまざまな取組により、普及啓発に努めてまいりたいと考えております。

### 【鹿島市子ども議会について】

次に、鹿島市子ども議会について申し上げます。

先月24日に、市内の中学3年生14名が中学生議員となり、議長や副議長などを務める模擬市議会「鹿島市子ども議会」が開催されました。中学生議員からは、「市内小中学校の冷房設備」や「市の交通安全対策」などについての一般質問が出され、「市の観光客の増加策」や「大型施設建設による活性化」などの提言も行われました。

私たち執行部も、これらの意見や提言を真摯に受け止め、実施できるものから今後の市政運営に反映させていきたいという考えで、答弁をいたしました。

今回の子ども議会では、市の将来を担う中学生が考えている鹿島市の課題や未来について知る良い機会となるとともに、ふるさと鹿島を思う気持ちを確認することができ、喜ばしく思ったところでございます。

子ども議会を企画していただきました議会の皆様、参加していただいた中学生をはじめ、関係者の皆様に、この場をお借りしまして感謝申し上げます。

### 【節目の年について】

最後に、今年は、様々な出来事や団体が節目の年を迎えられるので、少しご紹介いたします。

一つ目は、ご承知のとおり、明治維新から150年の節目でございます。鹿島市も記念事業として、この時期に活躍されたものの、あまり知られていなかった鹿島の人物や鹿島の関わりについて書いた本を発行しました。また、

鹿島市が生んだ偉人である田澤義鋪を顕彰したイベントには、多くの皆様にご来場いただいたところでございます。

二つ目に、1918年に、「八本木村」から「浜町」に地名が変更されてから100年を迎えました。浜町誕生記念事業として、リニューアルしたJR肥前浜駅構内で、8月5日から9月2日にかけて、100年を振り返る写真展が開催されたところでございます。これを皮切りに、今後、肥前浜駅や肥前浜宿を中心に駅カフェやコンサートなどの開催が計画されております。

三つ目に、鹿島市民図書館が、1918年に佐賀図書館の分館として開館してから、今年の12月で100周年を迎えられます。これまで、子どもたちの読書習慣を育み、市民の皆様の生涯学習を支えるなど、教育や文化の拠点としての役割を果たしてこられました。市民図書館では、開館記念日の12月1日に、日本文学研究者のロバート・キャンベル氏を招き講演会を開催されるほか、様々なイベントを展開されることしております。

四つ目に、鹿島青年会議所が、1958年の創立から60年を迎えられます。「奉仕・修練・友情」の三つの信条のもと結束し、これまで地域社会の発展のために様々な事業を展開され、「マチづくり」や「ひとづくり」に大きく貢献をしてこられました。9月29日には、60周年記念式典が開催されることとなっております。

五つ目に、鹿島市文化連盟は、創立から50年を迎えられます。これまで、文化祭などを通して市民の芸術文化の向上や普及、振興に大いに寄与していただいております。

節目の年に当たり、これまで先人達が懸命に努力して受け継いでこられてきた歴史を顕彰し、学ぶことは、文化の継承とこれから先の人材育成につながるものと考えております。各団体で節目を記念した様々な事業が開催され

ておりますので、ふるさと鹿島を振り返るこの好機に、より多くの市民の皆様にご参加いただきたいと思いますと思っております。

長きにわたり先人達の思いを受け継いでこられた各団体の関係者の皆様には、この場をお借りして感謝申し上げます。

### 【議案について】

それでは、提案いたしました案件につきまして、その概要を説明いたします。議案は、決算認定、補正予算など、合計16件でございます。

### 【報告について】

はじめに、報告第4号及び第5号 専決処分事項の報告について申し上げます。

これらは、市長の専決処分事項の指定に関する条例の規定により、損害賠償の額の決定について専決処分したもので、地方自治法第180条第2項の規定により報告いたすものでございます。

続きまして、報告第6号 平成29年度鹿島市土地開発公社決算について申し上げます。

決算の概要といたしましては、平成29年度は公有地の取得及び売却の事業は実施しておりません。

その結果、損益につきましては、事業外収益の106,428円から、一般管理費の14,230円及び事業外費用の418円を差し引き、91,780円の経常利益となっております。

この経常利益は、平成30年度へ繰越し、準備金として整理いたします。

## 【平成29年度決算認定について】

議案第32号 から 議案第37号 につきましては、平成29年度の一般会計及び特別会計に関する歳入歳出決算認定でございます。

平成29年度におきましては、健全な財政運営に留意しながら、「第六次鹿島市総合計画」の2年度目として、さらなる計画実現のために必要な事業について積極的に取り組んでまいりました。

その結果、各会計別の決算状況は、一般会計をはじめ、各特別会計も黒字決算となり、おおむね順調に各種事業を推進いたしました。

それでは、はじめに、議案第32号 平成29年度鹿島市一般会計歳入歳出決算認定について申し上げます。なお、決算につきましては円単位であります。便宜上千円単位で申し上げます。

平成29年度の歳入につきましては、総額143億8,257万8千円となり、県支出金や市債、繰越金などの減により、対前年比7.3%の減となりました。

一方、歳出につきましては、総額140億5,923万1千円となり、投資的経費の減により、対前年比7.6%の減となりました。

その結果、翌年度に繰り越すべき財源を差し引き、2億3,894万6千円の黒字決算となりました。

基金については、予算編成上、一旦は、市の積立金である財政調整基金から2億8,000万円、公共施設建設基金から1億8,536万円の繰り入れをいたしましたが、各種事務事業の見直しなどにより、年度末までに、それぞれ、2億1,844万8千円と7,936万2千円の積み立てを行い、今年度以降の財政運営に備えることといたしております。



次に、平成29年度一般会計決算における主な財政指標につきまして、説明いたします。

財政構造の弾力性を判断する指標としての「経常収支比率」は、93.5%で前年度と比較して1.6ポイントの増となりました。

歳入の主要一般財源は、0.2%増とほぼ前年並みでありましたが、歳出におきまして、扶助費や物件費などの増により、経常一般財源が1.9%増加したことが主な要因でございます。経常収支比率は、税込と普通交付税等の交付金の動向に左右されるため、先行きが不透明ではございますが、経常経費など事務事業の見直しを行うことにより、改善に努めてまいります。

公共下水道などの公営企業や一部事務組合の公債費も含めた実質的な公債費負担額の割合を示す「実質公債費比率」につきましては、公債費の減少等により6.3%となり、前年度と比較して0.7ポイントの改善となりました。

今後とも、それぞれの指標の改善に向けて更なる努力を行ってまいり所存でございます。

また、市債残高は、今年度末には約112億5,000万円となる見込みでございますが、償還費を普通交付税で全額措置されます臨時財政対策債を除けば、実質約64億円になる見込みでございます。

このうち、償還費の普通交付税による措置率は、平成29年度決算で53.6%となっており、市の自主財源で返済する金額は、実質的には34億円程度となっております。

本市の行財政運営の主要な部分を占める一般会計においては、行財政改革や市税などの自主財源の確保に取り組みながら、健全な運営を行っていくことが重要であると認識いたしております。

次に、**議案第 3 3 号** から **議案第 3 7 号** までは、それぞれの特別会計の決算認定でございます。

これらにつきましては、各特別会計の設置目的に従いまして事業の推進を図ってきたところでございます。

まず、**議案第 3 3 号** 平成 2 9 年度鹿島市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成 2 9 年度の歳入の総額は、1 1 億 6, 2 3 5 万 4 千円、歳出の総額は、1 1 億 6, 0 3 0 万 4 千円で、差し引き 2 0 5 万円となり、平成 3 0 年度への繰越明許事業分の財源として使用することといたしております。

次に、**議案第 3 4 号** 平成 2 9 年度鹿島市谷田工場団地造成・分譲事業特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成 2 9 年度の歳入の総額は、2, 6 0 0 万 8 千円、歳出の総額は、6 8 万円で、差し引き 2, 5 3 2 万 8 千円の黒字決算となっております。

次に、**議案第 3 5 号** 平成 2 9 年度鹿島市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成 2 9 年度の歳入の総額は、4 5 億 6, 9 4 4 万 2 千円、歳出の総額は、4 5 億 2, 2 5 4 万 1 千円で、差し引き 4, 6 9 0 万 1 千円の黒字決算となっており、平成 3 0 年度において国民健康保険基金へ積み立てたところでございます。

次に、**議案第 3 6 号** 平成 2 9 年度鹿島市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

平成 2 9 年度の歳入の総額は、3 億 9, 7 2 1 万 7 千円、歳出の総額は、3 億 9, 5 7 4 万円で、差し引き 1 4 7 万 7 千円となり、平成 3 0 年度会計へ繰り越したところでございます。

続きまして、**議案第37号** 平成29年度鹿島市給与管理特別会計歳入歳出決算認定について申し上げます。

この会計は、職員給与支給事務の簡素化を図ることを目的とした会計でございます。水道事業を除く一般会計及び特別会計のそれぞれの給与費決算額と重複した決算となっております。

最後に、**議案第38号** 平成29年度鹿島市水道事業会計決算認定について申し上げます。

平成29年度の収益的収支につきましては、純利益が1億190万円生じたため、全額を減債積立金に積み立てることとしております。

また、資本的収支につきましては、3億248万1千円の不足が生じたため、当年度分損益勘定留保資金等により補填したところでございます。

以上、平成29年度決算認定についての説明を終わりますが、今後とも、先行き不透明な社会経済情勢の中、「行財政改革プラン」を着実に実行し、限りある人材と予算の効率性を高め、「第六次鹿島市総合計画」に基づく主要施策の実現とともに、将来にわたり「持続可能な行財政運営」の構築に努めてまいります。

#### 【平成30年度補正予算案について】

次に、**議案第42号** 平成30年度鹿島市一般会計補正予算（第2号）について申し上げます。

今回の補正は、事業費の確定などに伴う経費の増などについて計上いたしており、予算の総額に5億9,689万3千円を追加し、補正後の総額を149億2,797万4千円といたすものでございます。

歳入につきましては、事業の決定、追加などに伴う国県支出金、ふるさと

納税寄附金などを計上するとともに、平成29年度決算剰余金としての繰越金などを計上いたしております。

歳出のうち主なものとしましては、総務費では、地域経済循環創造事業交付金や、さが未来スイッチ交付金、ふるさと納税推進事業経費、民生費では、「鹿島市子育て総合相談センター」事業経費や前年度の事業確定に伴う国・県補助金等返還金、消防費では、消防団運営交付金、教育費では、生徒奨励対策事業経費などを計上いたしております。

また、東亜工機 株式会社様から全国消防操法大会出場に対するご寄附を申し出ていただいておりますので、ご寄附の趣旨に従い有効に活用させていただくこととしております。

このほか、平成30年7月豪雨により農地等への被害が発生しておりますので、その災害復旧事業費も計上いたしております。

なお、今回、平成29年度決算剰余金の確定に伴い、地方財政法第7条の規定により決算剰余金のうち2分の1相当額を財政調整基金への積立金として計上いたしております。

続きまして、議案第43号平成30年度鹿島市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）について申し上げます。

今回の補正は、主なものとしまして、公共下水道管理費で浄化センター等運転管理業務委託料を減額し、修繕料を増額いたすものでございます。

最後に、議案第44号平成30年度鹿島市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について申し上げます。

今回の補正は、平成29年度決算に伴う繰越金と後期高齢者医療広域連合納付金を増額いたすものでございます。

## 【条例の制定について】

最後に、条例制定1件、条例改正2件について申し上げます。

まず、**議案第39号** 鹿島市干潟交流館設置条例の制定について申し上げます。

これは、交流人口の増加や観光の発展振興、地域振興に寄与することを目的とし、有明海特有の生態系や干潟と触れ合う場として干潟交流館を設置することに伴い、条例を制定するものでございます。

次に、**議案第40号** 鹿島市議会議員及び鹿島市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及びポスター等の作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

これは、公職選挙法の一部改正に伴い、鹿島市議会議員の選挙におけるビラの作成について公費負担とする改正を行うものでございます。

最後に、**議案第41号** 鹿島市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について申し上げます。

国が定める家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴い、代替保育や食事の提供に関し、家庭的保育事業等を実施するための要件について所要の改正を行うものでございます。

以上、提案いたしました議案の概要につきまして説明いたしました。詳細につきましては、ご審議の際、担当部長又は課長が説明いたしますので、よろしくご審議いただきますようお願い申し上げます。